

## 安全データシート

改定日 2021年3月4日

作成日 2016年4月15日

整理番号 OCIQL201604-123

1. 製品及び会社情報	製品名 会社名 住所 担当部門 (担当者) TEL番号 FAX番号 連絡先	: Chocoat ～チョコレート～ : O C I 株式会社 : 神戸市西区高塚台4丁目3番地6 : 品質保証部 : 078-992-1106 : 078-992-1108 : 同上
-------------	---	--

2. 危険有害性の要約	最重要危険有害性 有害性  危険性 環境影響 分類の名称 GHS分類	: 多量に飲み込むと、含有しているエチルアルコールの影響で有害。 : 引火性があるため火気厳禁 : データなし : 引火性液体
-------------	--	--

引火性液体 区分3  
 眼に対する重篤な損傷・眼区分2A-2B (エチルアルコールの影響)  
 刺激性  
 皮膚腐食性・刺激性 区分3【国連GHS分類】(ケレシンの影響)  
 生殖細胞変異原性 区分1B (エチルアルコールの影響)  
 生殖毒性 区分1A (エチルアルコールの影響)  
 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) 区分3 (気道刺激性、麻醉性) (エチルアルコールの影響)  
 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) 区分1 (肝臓)、区分2 (神経) (エチルアルコールの影響)

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気  
 強い眼刺激  
 弱い皮膚刺激  
 遺伝性疾患のおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 眠気又はめまいのおそれ  
 長期又は反復ばく露による肝臓の障害  
 長期又は反復ばく露による神経の障害のおそれ

注意書き:

**【安全対策】**  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
 静電気放電や火花による引火を防止すること。  
 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

		<p>保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。          屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。          ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。          取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p><b>【応急措置】</b>          火災の場合には適切な消火方法をとること。          吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。          眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。          皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。          衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。          ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。          眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。          気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p><b>【保管】</b>          容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。</p> <p><b>【廃棄】</b>          内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
3 組成、成分情報	<p>単一製品・混合品の区別          化学名又は一般名          成分および含有量</p>	<p>：混合物          ：食品添加物 チョコレート用アンダーコート剤          ：エタノール(CAS No. 64-17-5) 68.0%、ヒドロキシプロピルセルロース(CAS No.9004-64-2) 12.3%、グリセリン(CAS No.56-81-5) 2.5%、食品素材 17.2%</p>
4 応急措置	<p>目に入った場合          皮膚に付着した場合          吸入した場合          飲み込んだ場合</p> <p>以上の措置後、医師に連絡を取り、必要に応じ医師の手当を受ける。</p>	<p>：直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。          ：清浄な水または微温湯で洗浄する。          ：直ちに新鮮な空気のある場所に移す。          ：水で口の中を洗い、水又は牛乳を与え、胃内を薄めても良い。</p>
5 火災時の措置	<p>消火剤          使ってはならない消火剤          火災時の特定危険有害性          消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>：水、砂、粉末、二酸化炭素、泡末等          ：特になし          ：引火性がある。          ：火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には、周辺を水噴霧で冷却する。</p> <p>：消火作業の際は保護具を着用する。</p>
6 漏出時の措置	<p>人体に対する注意事項</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>除去方法</p>	<p>：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着させたり、ガスを吸入しないようにする。          ：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。          ：火気厳禁とし、漏出した液は、回収できる限り回収し、少量はウエス等に吸着させ、そのあとを多量の水で洗い流す。吸着に使用したウエス等は速やかに少量ずつ焼却する。</p>

7	取り扱い保管上の注意	取り扱い	: 火気厳禁とし、高温物、スパークを避けること。換気のよい場所で取扱うこと。
		技術的対策	: 使用後は容器を密封する。
		注意事項	: 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与える。または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
		安全取り扱い上の注意事項	: 吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用することが望ましい。
		保管	: 開封後は速やかに密封して、冷蔵暗所に保管する。
		適切な保管条件	
8	暴露防止および保護措置	保護具	: 通常の手扱いは特に必要ないが、着用することが望ましい。
		呼吸器用の保護具	: 有毒マスク用保護マスク
		手の保護具	: 保護手袋
		目の保護具	: 保護メガネ
		皮膚および身体への保護具	: 保護長靴、保護衣
9	物理的および化学的性質	物理的状态	
		形状	: 液体
		色	: 薄黄白色
		臭い	: 特有の臭いを有する
		pH	: -
		物理的状态が変化する	
		特定の温度/温度範囲	: データなし
		引火点	: データなし
		爆発特性	: データなし
		比重	: データなし
		溶解性	: 水に溶解
10	安定性および反応性	安定性	: 通常の使用条件では、安定。
		反応性	: 含有しているエタノールの蒸気は空気と混合し爆発の危険をもたらす。
		避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源
		危険有害な分解生成物	: データなし
11	有害情報	急性毒性	: 経口 区分外 LD50 = 10.2g/kg ラット、LD50 > 5g/kg
		局所影響	マウス (ヒドロキシプロピルセルロースの情報) : 通常の手扱いは影響はあまりないが、皮膚に付着したり目に入った場合はセクション4の応急措置に従う。
12	環境影響情報	環境影響情報	: 知見なし 製品が河川に排出され、環境への影響を起ささないように注意すること。
13	廃棄上の注意	残余廃棄物	: 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。 少量の場合は、おがくず、ウエス等に吸収させて少量ずつ焼却する。これを含む排水は、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。
		容器・包装	: 容器中に製品が残存している場合は製品を抜き取り、容器の中を水洗した後少量ずつ焼却する。

---

14 輸送上の注意	国際規制 注意事項	: データなし : 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に 行う。 引火性の液体であるため、火気厳禁とすること。
-----------	--------------	---

---

15 適用法令	食品衛生法 消防法 毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法  船舶安全法 (危規則) 航空法 化学物質管理促進法 (P R T R法)	: 食品添加物 : 危険物第 4 類引火性液体アルコール類水溶性液体 : 非該当 : 法第 57 条の 2 通知対象 No.62 (エタノール) 含有 令別表第 1 の 4 危険物 引火性の物 : 高引火点引火液体 : 引火性液体 : 非該当
---------	---	--

---

16 その他

本データシートに含まれる情報は、弊社の知見に基づき誠意を持って参考情報として提示しているもので、これにより何ものをも保証するものではありません。

また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合は新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

なお、ここに記載されている情報は新しい知見に基づき改訂することがあります。